

会 議 開 催 結 果

1 会議の名称	平成28年度第2回富津市消防委員会
2 開催日時	平成29年2月15日 16時00分～16時50分
3 開催場所	富津市消防防災センター会議室1・2
4 審議等事項	(1) 消防団の充実強化について (2) 消防団施設について
5 出席者名	(市議会議員)平野英男、三木千明、諸岡賛陞 (学識経験者)大草三貴雄、萩野茂、神子義春 (消防関係者)石井輝之、澤田正弘、溝口好孝 小柴消防長、在原総務予防課長、五月女署長、 岩崎主幹、鈴木副署長、鈴木副分署長、山口副 分署長、森副主幹、角田課長補佐 紫藤主任（書記） 【欠席者】 なし
6 公開又は非公開の別	(公開) ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0人（定員5人）
9 所管課	消防本部 総務予防課 総務係 電話0439（88）6402
10 会議録	別紙のとおり

消 防 委 員 会 会 議 録

発 言 者	発 言 内 容
角田課長補佐	<p><開会></p> <p>本日は、委員の皆様におかれましては、何かとお忙しいところご出席をいただきまして誠にありがとうございます。司会進行をいたします総務予防課の角田です。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p><資料確認></p> <p>それでは、ただ今より平成28年度第2回富津市消防委員会を開会させていただきます。</p> <p>はじめに、委員長よりご挨拶を頂戴したいと存じます。</p>
平野委員長	<p>委員の皆様におかれましては、公私ともお忙しいところご出席を賜わりましてありがとうございます。</p> <p>今年度も10ヵ月以上が経過しましたが、本市においては、台風や地震などの自然災害による大きな被害がなく、良い年であると感じております。</p> <p>さて、本日の委員会は、「消防団の充実強化について」、「消防団施設について」が議題となります。委員の皆様には、それぞれの立場でご意見をいただき活発な議論をお願いいたします。</p>
角田課長補佐	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に小柴消防長よりご挨拶を申し上げます。</p>
小柴消防長	<p>本日は、委員の皆様におかれましては、公私ともお忙しいところ、ご出席を賜わり誠にありがとうございます。</p> <p>平素から、消防行政の推進にあたり、それぞれのお立場から格別なお力添えをいただき心からお礼申し上げます。</p> <p>また、出初式を始め様々な行事にご支援、ご協力をいた</p>

	<p>だき重ねてお礼申し上げます。</p> <p>委員長のご挨拶にもありまたように、本市においては大きな災害に見舞われることはありませんでしたが、全国を見ますと各地で大雨や地震等で災害が発生しており、多くの方が犠牲となっております。いつ起こるか分からない災害に対して消防本部としまして、消防団や地域住民との連携を深めるとともに万全な体制を確保するため、日夜訓練を重ね市民の安全・安心のために有事に備えて参ります。</p> <p>本日は、皆様から貴重なご意見、ご指導を賜わり、消防行政の更なる発展に繋げてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
角田補佐	<p>それでは、次第により進めてまいります。本日の委員会の会議については、富津市消防委員会条例第6条第2項の規程により、委員定数の半数以上が出席されておりますので会議が成立することをご報告いたします。</p> <p>また、本委員会は富津市情報公開条例第23条第4項の規程により、会議録の作成が義務づけられておりますことから、事務局より会議録の署名人を指名したいと存じます。今回は、澤田委員、三木委員をお願いしたいと存じます。よろしく願いいたします。</p> <p>なお、会議録作成のため録音をいたしますのでご承知おきください。</p> <p>これより議事に入りますが、条例第6条第1項の規程により、「委員会の会議は、委員長が招集し会議の議長となる。」とありますので、委員長よろしく願いいたします。</p>
平野委員長	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>議題1「消防団の充実強化について」を議題といたします。事務局より説明を求めます。</p>

岩崎主幹

それでは、議題1「消防団の充実、強化について」をお手元の資料に基づきご説明いたします。

消防団は、火災出動のみならず、地震や風水害等の大規模災害が発生した際にも、被災者の救出や住民の避難支援など多くの局面で地域防災体制の中核的存在として活躍しております。

平成25年に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行され、各自治体に消防団の強化に取り組むよう通知がされております。

そのような中、地域防災力の要である消防団員の確保が困難な状況が続き、本市でも年々団員数が減少しているところであります。消防本部では、毎年、消防団と消防団活動等検討委員会を開催し、団員の確保や装備の充実、拠点施設等の強化について機会あるごとに検討して参りました。

資料1「消防団の組織概要」をご覧ください。これは、近隣4市の消防団の組織概要で、機能別分団や女性分団の活動内容を表として作成したものです。各市とも消防団の規模や消防団員数はまちまちですが、共通して言えることは、被雇用者の割合が8割を超え、定員割れを起こしており富津市を除く3市は、機能別分団を組織して団員確保を行っていることです。

今回の検討委員会では、他市の状況と比較し、富津市は、団員を確保するにはどうすべきか検討いたしました。

本市においては、人口の減少や市外への就労など新入団員の確保は、他市以上に困難な状況にあります。

そこで、大規模災害や水火災において人員確保するために即対応できるOB団員を平成29年度中に組織してはどうか。

また、女性分団員を団本部付けとして10名程度組織し、

<p>平野委員長</p>	<p>地域防災会が主催する応急手当講習会の指導や災害時における避難所等での被災者支援などで活動ができるように組織してはどうか等の目標を掲げました。</p> <p>今回の検討委員会では、平成29年度中を目標に以上のような意見が出ましたが、本委員会で皆様のご意見をいただき今後の消防団充実、強化を図りたいと存じます。</p> <p>事務局の説明は終了しました。</p> <p>説明内容について、意見や質問はありますか。</p>
<p>三木委員</p>	<p>先ほど説明がありましたOB団員について、私も強く推奨していただきたいと思います。</p> <p>実際にある地区の消防団OBの方から投げかけられました。勤務の都合などで火災等が発生した時に、出動できる団員が少ないと伺いました。そのため、OB団員として可能な時には率先して活動をしたいが、実際の火災現場などでどこまで踏み込んで活動をしていいのか分からないという話を伺いました。</p> <p>そこで、消防団OBの方々を活かせる組織作りが必要であると思います。</p>
<p>石井委員</p>	<p>三木委員とお話をされたOBの方の年齢はどのくらいのかたでしょうか。</p>
<p>三木委員</p>	<p>40代前半の方です。活動することは問題無いそうなのですが、万が一事故等が発生した場合の補償などを気にされていました。</p>
<p>神子委員</p>	<p>三木委員からもお話がありましたが、OBの方がどこまで踏み込んでいいのか、怪我をしてしまったことに対する</p>

	<p>対応等の問題があると思いますので、課題を明確にして検討をする必要があると思います。</p>
岩崎主幹	<p>先月、富津市消防団活動等検討委員会を開催し、その場でも消防団員確保について協議し、即戦力となるOB団員の導入について検討をしました。組織の構成など詳細内容については今後検討を重ね、平成29年度を目処に組織を作る話となっています。</p>
平野委員	<p>他に意見のある方はいらっしゃいますか。</p>
諸岡委員	<p>来年度、消防団の入れ替えになるかと思いますが、平成29年4月の消防団員数の見込みはどのくらいになっていますか。</p>
岩崎主幹	<p>現在、消防団員数は集計中ではありますが、今年度の503名よりも下回る見込みとなっています。</p> <p>そのため、経験豊富なOB団員で補充することを考えています。</p>
平野委員	<p>他に意見のある方はいらっしゃいますか。</p>
大草委員	<p>現在の富津市消防団員の平均年齢どの位でしょうか。</p>
岩崎主幹	<p>平成26年時点のデータになりますが、約32歳です。</p>
大草委員	<p>他市と比較して若いのですか。</p>
岩崎主幹	<p>富津市は若いと思います。</p>

大草委員	<p>人口が減少しているので団員の確保に苦労していると思いますが、対処として任期を延ばすなどの考えはお持ちでしょうか。</p>
岩崎主幹	<p>任期については、平成25年度に消防団に少なくとも5期の10年活動していただきたいとお願いしました。</p> <p>退職報償金の話になりますが、在籍が8年と10年では受給する金額が異なるため10年を目標にさせていただきたい旨を話しました。</p>
大草委員	<p>若い世代で他市へ移住している方が多く、私が住んでる地区でも小学校に入学する子が少ないのが現状です。</p> <p>富津市は、人口に対する消防団員の充足率は、近隣3市と比べてどうなんでしょうか。</p>
岩崎主幹	<p>人口に対する消防団員の充足率は把握できていませんが、定員に対する消防団員の充足率は、近隣3市が機能別消防団を含めて95%程度となっており比較すると若干下回っております。</p>
大草委員	<p>富津市は、まだ充足率は高い方だと思いますし、OBを機能別として考えるよりも退団予定者の任期を延ばして活動してもらうことの方がいいのではないのでしょうか。</p> <p>消防団に説明をして少しでも長く任期を努めていただくようお願いをした方が良くないのでしょうか。</p> <p>過去の話になりますが、平成13年に消防団を統廃合した時に200名近くの団員を減らしたことが、歪みとなって今に現れていると思いますし、全国平均と比べて富津市消防団の平均年齢は若いいため、少しでも長く消防団に在籍してもらう呼びかけをしてもよいと思います。</p>

	<p>まずは、近隣3市の平均年齢を目標にやっていただきたいと思います。</p>
<p>荻野委員</p>	<p>私自身も消防団に在籍しましたが、当時、大佐和地区は3期若しくは4期で退団しても団員が不足することはありませんでしたが、団員が不足している現状を考えると少しでも長く在籍して活動をしていただきたいと思います。</p>
<p>石井委員</p>	<p>私が、団長に就任した時に各部で新入団員が入らないため、分団役員をやったものが部に戻るといった動きがあったので、分団役員が部に戻るのではなく分団役員を1期で終わらずに継続するようにお願いはしましたが、継続してもらうことは難しいのが現状であります。</p>
<p>大草委員</p>	<p>私が、消防団をやっている時代で全国平均年齢と比べて10歳くらい富津市消防団は低かったかと思います。</p> <p>テレビなどで他県の消防団を拝見した時に、富津市と比べて明らかに年齢層が高いと皆様も感じてるとと思います。</p> <p>富津市は、30歳代で退団者が多い中、一方で他県では50歳近い方が分団長をやっていることを考えれば、長く活動をしていただければと思います。</p>
<p>石井委員</p>	<p>長く消防団として活動をするには、家族の支えも必要になり難しい問題だと思います。</p>
<p>澤田委員</p>	<p>消防団勧誘をしても、現状は人がいない、いても本人に拒否をされことや本人は入団したくても家族に反対されることなどがあり、団員確保に苦慮してます。</p> <p>将来的に、定期的に新入団員を確保することは困難であろうと思われます。</p>

<p>平野委員長</p>	<p>その中で、定員を満たし活動をする事を考えると皆様から意見のあった団員の任期の延長、これについても一概に任期の短い分団だけに任期の延長を求めるのか、現状を見ると任期の短い長い地区は歴然としています。そのため、各役職に就く年齢層の差も歴然としています。</p> <p>そのような流れは、長い歴史の中で培ってきたものなどで、一気に変えることは難しいと思います。</p> <p>機能別団員については、誰でもいいという訳にはいかないと考えますし、知識・技術を持った経験者になっていただければという考えで消防団の会議でも議論をしました。</p> <p>実際に団員が確保できない現状を考えると、何とかしなければならぬため、不足の部分を補うということで推奨していく必要があると考えます。</p> <p>団員の確保に関しては、喫緊の課題になります。委員の皆様から様々なご意見いただきましたので、参考にして事務局の方で検討し、進めていただきたいと思います。</p> <p>また、状況に関して随時経過を各委員に報告していただければと思います。</p>
<p>平野委員長</p>	<p>それでは次に、議題2に移りたいと思います。</p> <p>「消防団施設について」を議題とします。事務局より説明を求めます。</p>
<p>在原課長</p>	<p>それでは、議題2「消防団施設について」ご説明いたします。お手元の資料2「消防団施設について」をご覧ください。</p> <p>消防団施設については、計画的に詰所等の整備や車両等、装備の充実を図っているところでありますが、本年度の事業として、第6分団第1部詰所の改築が進められておりま</p>

す。

詰所は、平成26年度に整備したCD-I型ポンプ自動車
を収納する車庫と団員40名規模の会議室を配置し、3
月17日の竣工を予定しております。

また、車両等では第5分団第1部の小型ポンプ1台を3
月10日までに更新予定であります。

続きまして、平成29年度から平成33年度までは、富
津市の中期収支見込みに計上しております整備計画になり
ます。

平成29年度は、竹岡地区に平成30年度に移転新築予
定の第9分団第1部詰所の用地整備のため、現在の市営住
宅竹岡団地9棟のうち、空き家4棟の解体を建設経済部の
予算として計画しております。

また、下段の車両等の更新ですが、消防団第5分団第1
部の車両を更新しようとするもので、現在の車両は、平成
3年に整備されたボンネットタイプの車両であり、故障し
た場合、部品の供給ができず、修理不能になることもある
ことから、更新を予定しております。

車両は、平成26年度に整備した第6分団第1部の車両
と同様のCD-I型で、本年度に更新する小型ポンプを後
部に積載するキャブオーバータイプのポンプ自動車になり
ます。

第5分団は、第6分団と同様、ポンプ自動車1台の配備
のため、水利部署困難な場所では、小型ポンプを河川や堰
に部署させてポンプ車に中継して、放水をしなければなり
ません。

広域でかつ、車両1台の配備分団では、隣接の応援が来
るまで放水ができない場合がありますので、本市では各部に
小型ポンプを配備しております。

平成30年度以降については、項目別にご説明いたしま

	<p>す。</p> <p>詰所等においては、平成30年度に第9分団第1部詰所、平成32年度に第7分団第1部詰所の移転建築を予定し、詰所建築の翌年度にそれぞれ解体を計画しております。</p> <p>車両等の更新ですが、平成30年度は、下段に記載のとおり、小型ポンプ付積載車2台であり、ポンプ車や積載車の小型化を行う計画であり、平成31年度から平成33年度までは、小型ポンプ積載車の経年劣化による更新をそれぞれ計画しております。</p> <p>なお、平成29年度以降の計画については、市の予算との兼ね合いがありますので、実施が見送られることもありますのでご了承願いたいと存じます。</p> <p>以上が「消防団施設について」の説明となります。</p>
平野委員長	<p>事務局の説明が終了しました。ご意見、ご質問がありましたらお願いします。</p>
諸岡委員	<p>設備等とは関係ないのですが、運転免許証の改正に伴って普通運転免許では消防車を運転できなくなってしまうと前回の委員会で伺いましたが、今後、消防団員の運転免許証の確認の徹底と指導を行っていただきたいと思います。</p>
岩崎主幹	<p>運転免許証の確認については、消防団会議などで適宜実施していただくように周知をします。</p> <p>運転免許証の改正についてですが、富津市から県へ運転免許取得の補助金の交付について要望を提出しております。</p> <p>改正後、普通運転免許ではCD-I型を運転できなくなることが懸念されることから要望しております。</p>

大草委員	<p>7分団1部詰所の移転先が、旧天羽行政センター付近と なっていますが敷地内という意味ですか。</p>
在原課長	<p>候補地として、旧天羽行政センター付近としております。 候補地ということで、現段階ではご理解をいただければ と思います。 今後の市の動きの中で決定していきます。</p>
大草委員	<p>候補地は、7分団1部の管轄内ですか。 その場所だと、7分団2部詰所と近いと感じますが。</p>
神子委員	<p>機能性を考えれば、現在の位置がいいと思いますが。</p>
在原課長	<p>7分団1部は、津波浸水区域内になります。7分団2部 は、場所が更和で鹿野山の麓にあるので距離は離れている とは感じています。 7分団1部の旧詰所は、旧天羽行政センターの敷地内あ りました。その後、現在の位置に移転しましたが、津波浸 水区域が設定され浸水区域内となってしまったため、候補 地として旧詰所があった旧天羽行政センター敷地内を挙げ させていただいており、決定ではございません。</p>
平野委員長	<p>詰所などの改築改修、車両などの更新に関しても、市の 事業計画によって若干の修正はあると思いますが、スケジ ュールに沿って進めていただければと思います。 以上で議事を終了しますが、その他について委員の皆様 からあればお願いします。 〈特に無し〉</p>

平野委員長	事務局から何かありますか。
角田補佐	ありません。
平野委員長	委員の皆様におかれましては、円滑な議事進行にご協力をいただきありがとうございました。
角田補佐	ありがとうございました。 以上をもちまして、消防委員会を閉会いたします。 <開会>